

復興10周年を心に刻むライトアップ&スカイランタン

浜通りの未来に向けた願いを込めて、
200個のランプシェードと200個のランタンで広野を灯す。

#復興 #広野 #ライトアップ #スカイランタン
幻想的な、祈りの時間、を世界に発信しませんか？

・みんなで育てたコットンで作ったランプシェードが、
防災緑地をライトアップします。
・綺麗バナナから作った和紙に祈りを載せて、
スカイランタンが夜空を彩ります。

2021年3月11日(木)

受付(ランタン&メッセージカード準備)：17:30

スカイランタン打ち上げ：18:30

【於・ひろの防災緑地 駐車場】

主催：認定NPO法人環境リレーションズ研究所、NPO法人広野わいわいプロジェクト
共催：広野町、NPO法人ザ・ピープル ぶくしまオーガニックコットンプロジェクト、いわきおてんとSUN 企業組合
協力：株式会社広野町振興公社、NPO法人いわきイルミネーションプロジェクトチーム

【つながりのご紹介】

東日本大震災及び原子力発電所事故から10年を迎えようとしています。絶望的な状況から立ち上がり、全国からの多くの支援・連携の下、広野町では、これまでに様々な復旧・復興事業を展開し10年間を歩んで来ました。福島県いわき市・広野町・富岡町などで展開するコットンプロジェクトは、東日本大震災後の耕作放棄地を再生させる取り組みとして、在来種の茶色い綿花を有機農法で育てています。広野町のコットン畑のすぐ近くには、防災緑地の一部に、多くの人々の人生の記念樹を植えるプレゼントツリーの森が育てられています。コットンを育てることも、森を見守ることも、福島からの新しい未来づくりです。10年の節目の今、未来の森をステージに、みんなで育てたコットンで作ったランプシェードを自然エネルギーの力で灯し、みんなの願いをLEDランタンに載せて飛ばします。

プレゼントツリー



環境リレーションズ研究所が進める「森林再生と地域振興」を同時に目指すプレゼントツリー。少子高齢化の進む全国各地の皆伐跡地や被災林などに記念樹を植えて、首都圏の人達が里親となり、自身の大切な樹を10年間に亘り地元の人達と交流しながら共に育てていくことで、森だけでなく地域も元気にしていきます。これまでに国内28カ所に約20万本を植樹し、多くの方々にご参加頂いています。「Present Tree in ひろの」では、福島県双葉郡広野町に在る防災緑地の一画に、地域振興の拠点となる賑わいの森をつくっています。

広野わいわいプロジェクト



地域の場合（ニツ沼総合公園・ひろの防災緑地・オーガニックコットン畑）、地域の資源（みかん・オリーブ・コットン・米）、そして地域とのつながりを活かし「賑わい」と「なりわい（仕事）」を生み出す「広野わいわいプロジェクト」。平成27年復興庁「新しい東北」先導モデル事業で実施した「ひろのパークフェス」「Present Tree in ひろの」そして「女性の手仕事づくり」で得られた成果・つながりを、双葉八町村・いわき市・福島県、そして首都圏を中心とした県外の方々と共に深めています。

ふくしまオーガニック

コットンプロジェクト



東日本大震災後の耕作放棄地対策の一つとして、いわき市で2012年からスタートした、在来種の茶色い綿花を有機農法で育て、収穫したコットンでものづくりまで行う取り組みです。いわき市内では、原発避難者の方たちと共に畑を耕しています。また、帰還された方たちと共に栽培する畑は双葉郡内にも徐々に広がり、福島県の浜通りエリアにコットンベルトを形成しようとしています。収穫されたコットンを自らの手で糸に紡ぎあげ、手織りして製品を生み出す取り組みも始まっています。